

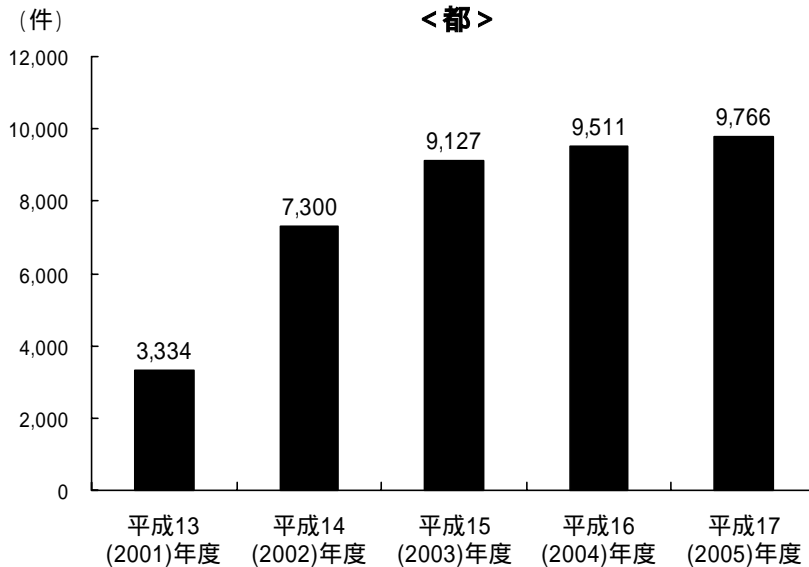
人権が尊重される社会の形成

- 1 家庭内等における暴力の防止

1 配偶者からの暴力に関する相談件数

配偶者暴力相談支援センターに寄せられた配偶者暴力に関する相談件数は、都、全国ともに年々増加する傾向にあり、平成 17 年度には都が 9,766 件、全国が 52,145 件となっている。

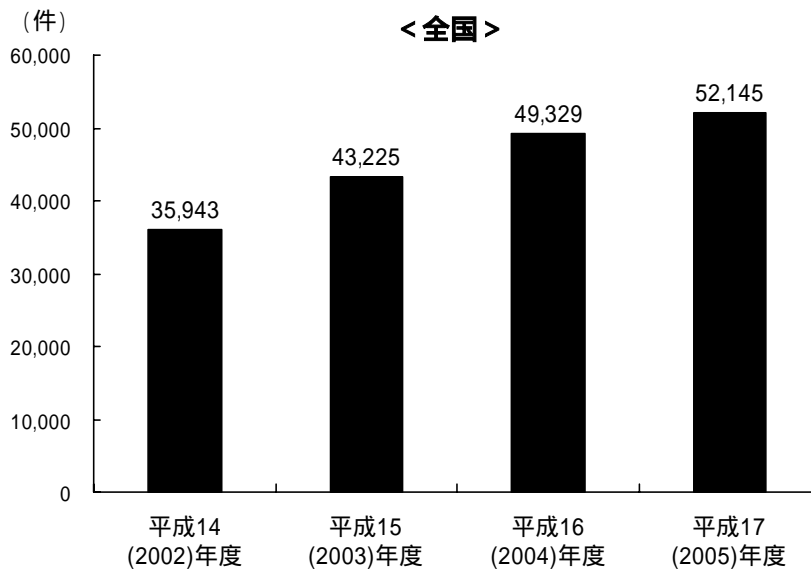
図表 - 1 - 1 配偶者からの暴力に関する相談件数の推移（都・全国）



注 1：都の配偶者暴力相談支援センター（東京ウィメンズプラザ及び東京都女性相談センター）に寄せられた配偶者暴力に関する相談件数。

注 2：配偶者暴力相談支援センターとなるのは、平成 14 年 4 月 1 日（配偶者暴力防止法施行日）以降である。

資料：東京都生活文化局調べ



注 1：施設数は、平成 18 年 11 月現在 171 か所。

注 2：件数は、被害者本人からの相談件数。

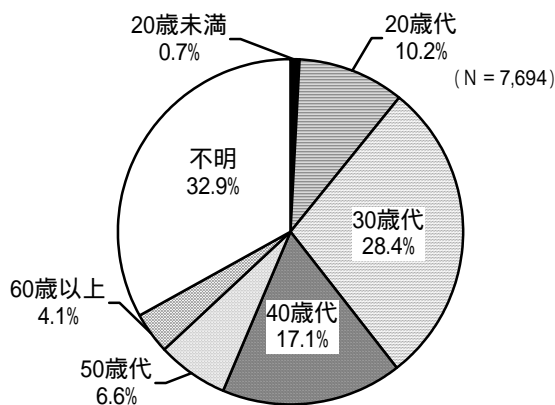
資料：内閣府男女共同参画局「配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力が関係する相談件数等について」平成 17 年度

2 配偶者暴力相談支援センターにおける相談の状況

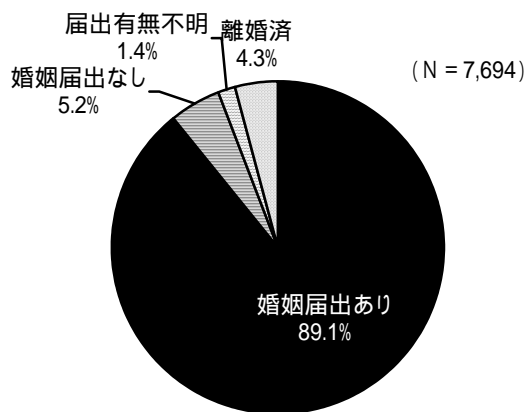
平成 17 年度の都の配偶者暴力相談支援センターに相談した女性被害者は、30 歳代が最も多く 28.4%となっている。加害者との婚姻関係では、婚姻関係のある配偶者が 89.1%を占めている。

図表 - 1 - 2 配偶者暴力相談支援センターにおける相談の状況（都）

<女性被害者の年齢>



<加害者との婚姻関係>



注：被害者本人以外と男性被害者を除く。

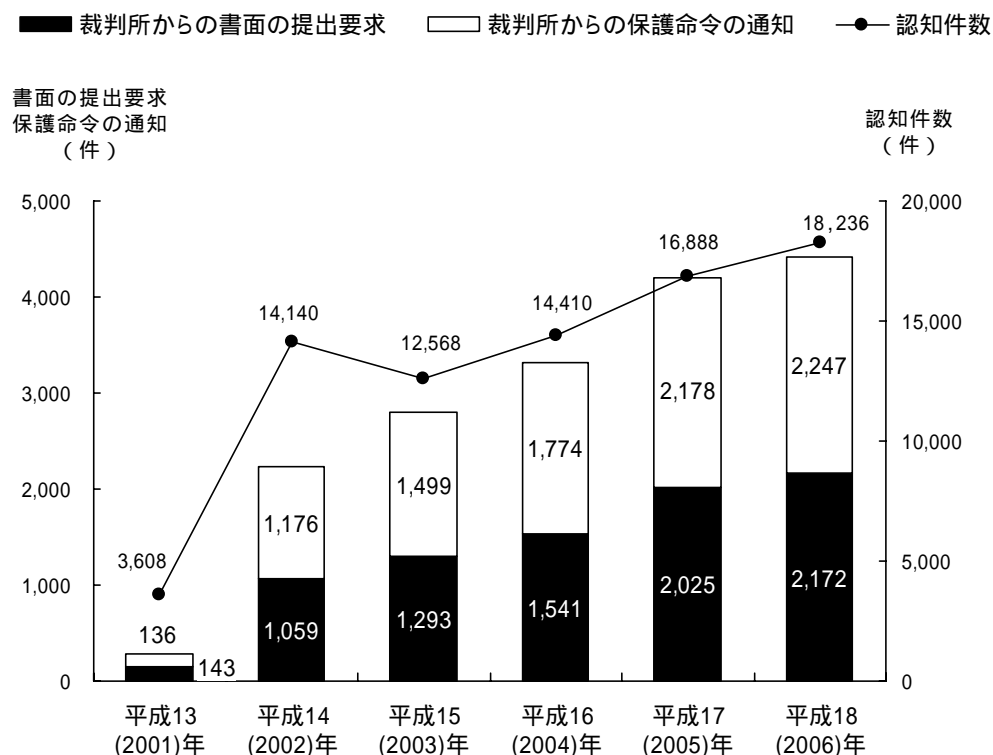
資料：東京都生活文化局調べ

3 警察が取り扱った配偶者暴力の状況

平成18年に警察で対応した配偶者からの暴力相談等の認知件数は、前年に比べて1,348件（8.0%）増加している。被害者と加害者の関係は「婚姻関係」が72.8%、「婚姻関係を解消」が12.1%である。被害者の98.8%が女性であり、20～30歳代が約6割を占める。

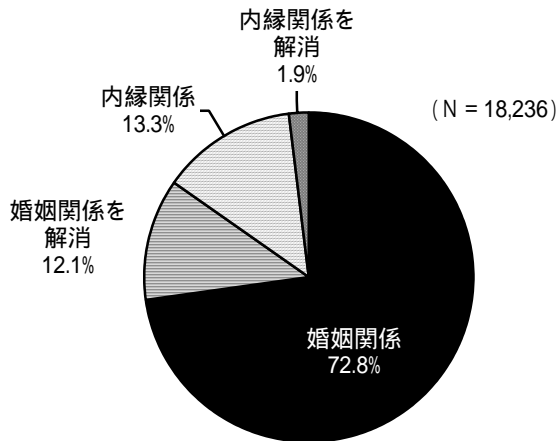
図表 - 1 - 3 平成18年中に警察が取り扱った配偶者暴力の状況（全国）

（1）配偶者暴力に係る対応の推移（全国）

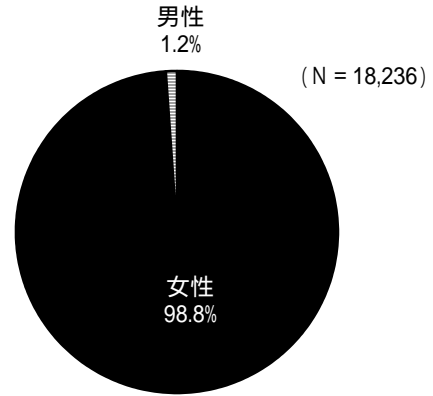


資料：警察庁「配偶者からの暴力事案の対応状況について」

(2) 被害者と加害者との関係

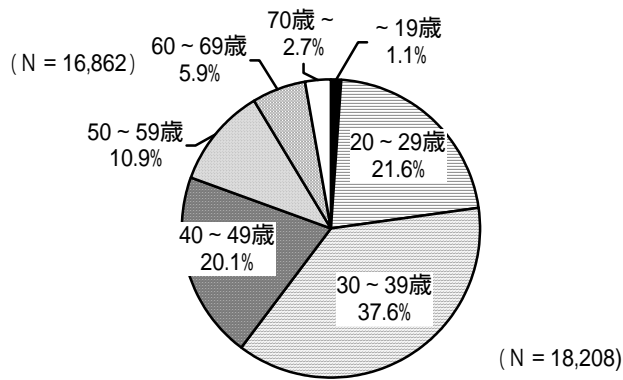


(3) 被害者の性別



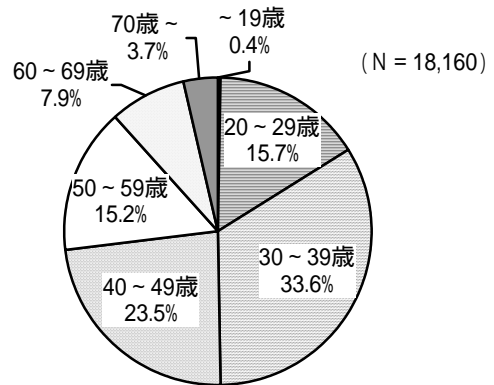
注：「内縁関係」は、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある場合に限る。

(4) 被害者の年齢



注：年齢が不明である 28 件を除く。

(5) 加害者の年齢



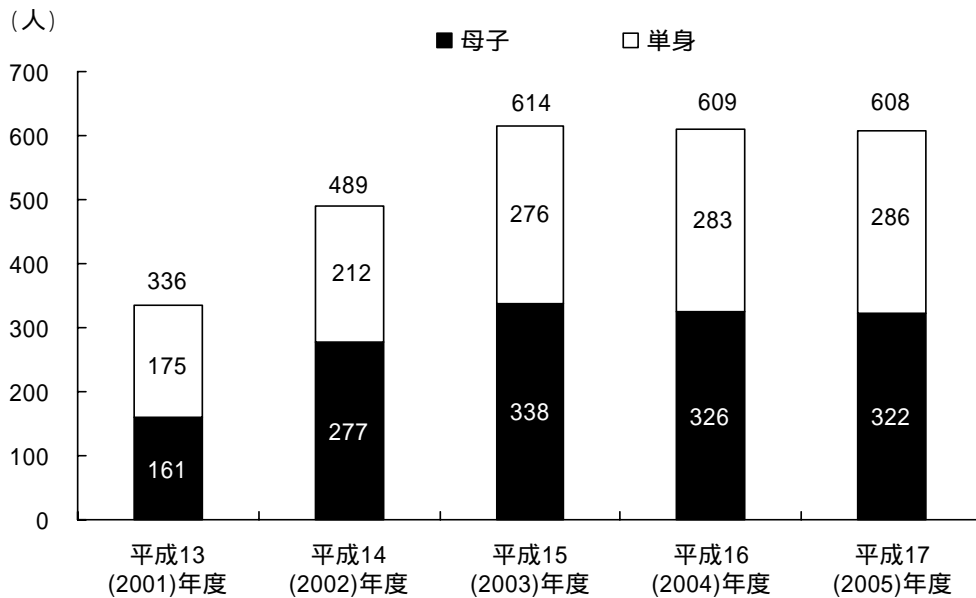
注：年齢が不明である 76 件を除く。

資料：警察庁広報資料

4 配偶者暴力による一時保護件数

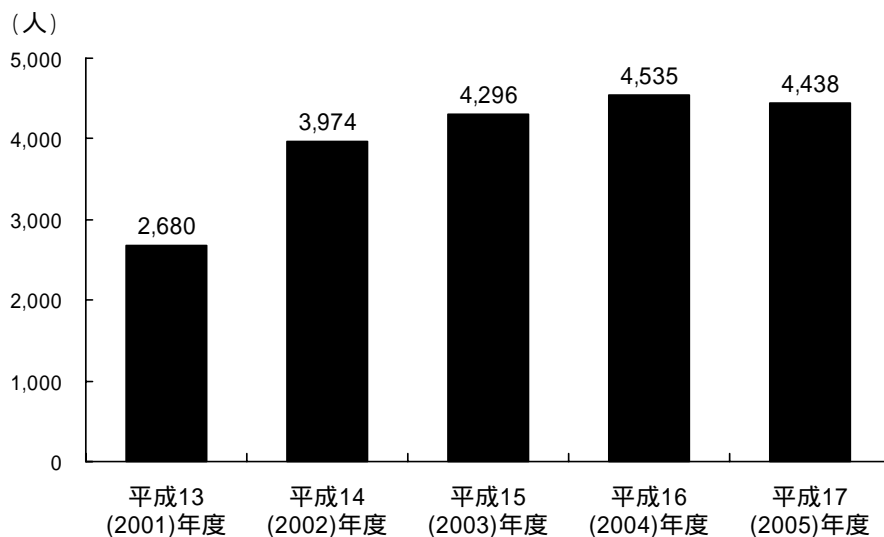
平成 17 年度に東京都女性相談センターで扱った配偶者暴力による一時保護利用者は 608 人、全国の婦人相談所において夫等の暴力により一時保護された女性の人数は 4,438 人となっている。

図表 - 1 - 4 配偶者暴力による一時保護利用者の推移（都）



資料：東京都生活文化局調べ

図表 - 1 - 5 婦人相談所における夫等の暴力により一時保護された女性の人数の推移（全国）



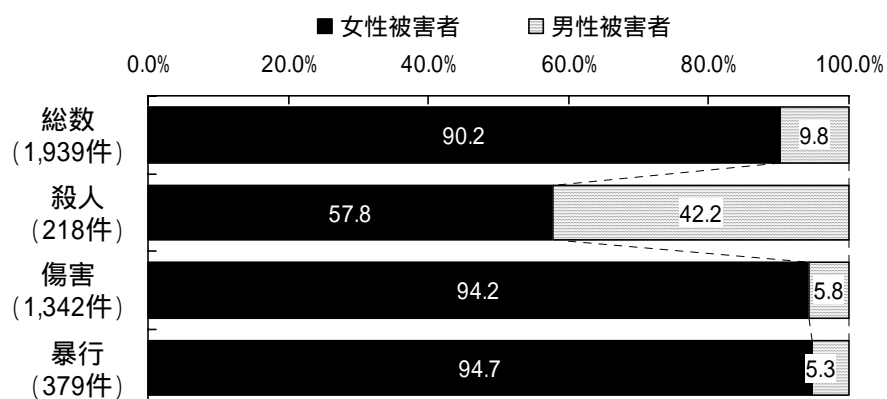
注：一時保護委託分を含む。

資料：厚生労働省調べ

5 配偶者間における犯罪の検挙件数

配偶者間における犯罪の検挙件数をみると、平成 17 年は 1,939 件となっており、被害者の 90.2% を女性が占めている。

図表 - 1 - 6 配偶者間における犯罪の被害者（検挙件数割合）(全国)



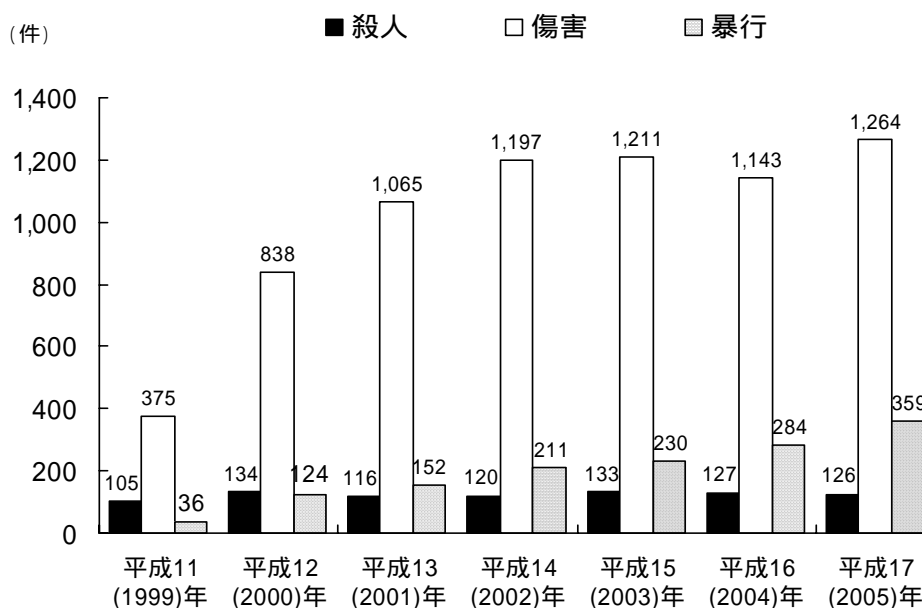
注：配偶者には内縁関係にある者を含む。

資料：警察庁「平成 17 年の犯罪情勢」平成 18 年

6 夫から妻への犯罪の検挙状況

平成 17 年の夫から妻への犯罪の検挙状況をみると、「傷害」が 1,264 件で最も多くなっており、「暴行」は増加を続けている。

図表 - 1 - 7 夫から妻への犯罪の検挙状況（全国）



資料：警察庁「平成 17 年の犯罪情勢」平成 18 年